

令和6年度 人権教育研究部研究協議会(主任者会)

令和6年4月12日(金)みをつくし文化センター

1 顧問校長挨拶 浜松市立新津小学校 松山 徹校長先生

新年度、子供たちとの関係づくりがスタートして2週間目に入った。世界では依然として戦争が続いており、互いに自国を守るために正義を主張している。侵攻さえ正義となり、相手を打ち負かすことを期待し、故郷の破壊が続いている。人と人とのつながりの中で生きている私たちは、「暴力や打ち負かすこと」では、互いの考え方、世代間の違いを理解することはできない。教育公務員、人権教育部の担当者として、子供一人一人の考え方や生活環境の違いをよく理解し、互いの人権を尊重する意識をレベルアップさせてほしい。

2 講話1「第2次 浜松市人権施策推進計画について」

講師 浜松市人権啓発センター所長 中村 英克 様

人権教育の推進に関わっている先生の中には、配属されたばかりの先生もいるだろうが、市民の人権意識が向上するための即効薬はない。学校での人権教育が頼りである。

本年度は、人権施策推進計画策定の5年目となる。目標は、「市民が思いやりあふれる社会の中で、自分らしく幸せに生きていくこと」である。人権への気付きという種をまき、人権尊重の意識の定着度50%を目指す。

正しい知識と理解を育むための体系図<重点的な取り組みの方向性①～⑦>では、

①幼児期からの家庭・幼児教育

②学校における人権教育

⑤人権にかかわりのある職業に従事する人に対する研修等

の方向性および主な取り組みについて、理解を願う。そのほか、⑧性的マイノリティの人権については、周囲からの偏見や差別、生活の不便さという現状から、課題があると考えられる。



講話2「人権啓発センターの具体的な取り組みと、学校とのかかわり」

講師 浜松市人権啓発センター 渥美 竜三 様

人権啓発センターは、遠州病院前のクリエート浜松1階の東側にある。学校は学ぶことがあふれていて大変だが、先生方には何かチャレンジしてほしい。人権教育は、キャリア教育同様、全ての教育活動にかかわる視点となる。

本センターの取り組みで、学校とかかわるものは、以下の6点である。

①人権教育指導者研修会・・・人権を学ぶ場を、市職員人権担当と連携して計画している。

②地域ふれあい講座・・・家庭における人権意識の向上を目的として35年間続いている。

③人権啓発資料の配布・・・資料「思いやりの心 すてきな笑顔」

④人権絵本の作成・・・「ぼくはぼく」「おさんぽしてただけなのに」「『ごめんなさい』のあとは」「アニカちゃん いつあそべるの」等

⑤出前講座の紹介・・・教職員、PTA、児童生徒を対象に、人権について正しく知る講話申し込みができる。

⑥研修図書の貸し出し・・・図書1085冊、DVD86枚

司書の先生と相談しながら仕掛けを考えていくのもよい。ぜひ活用してほしい。



3 人権教育部 運営組織

4 今年度の研究テーマ「人権意識の広がり」と参加体験型人権学習の推進」

1学期終了後、実践報告書を全員提出すること。

以上